



2015-16 年度 R I のテーマ「世界へのプレゼントになろう」

R I 会長 K. R. ラビンドラン (Be a gift to the world)

八戸南ロータリークラブ会報

例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル

●ガバナー 鈴木 唯司 ● 会長 伊藤 斉 ● 幹事 吉田 立盛 ● コミュニケーション委員長 三浦 晃
ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp
RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2015/

第 1947 回 例会 記録

《コミュニケーション委員会
担当例会》

2015 年 9 月 24 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1379



平光 S A A

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



《ゲスト》

八戸高校インターアクトクラブ

府金 佑佳さん、黒坂 咲野さん、工藤 咲季さん、

杉本 圭南さん

顧問教諭 榎本 純子先生、山口 明子先生

《ゲスト》

荒谷 徳安 様 (八戸東 RC)

《会長要件》伊藤会長



昨日は弘前ロータリークラブの 60 周年記念式典に黒田会員、長嶺会員、熊谷会員、榎会員と私の 5 名で出席しお祝いをして参りました。会長式辞の中で四つのテストのお話があったのですが弘前クラブでは毎週唱和をして最後の週は四つの反省になるそうです。「一つ、真実だったかどうか」「一つ、みんなに公平だったか」「一つ、好意と友情を深めたか」「一つ、みんなのためになったかどうか」、この四つの反省をする事で四つのテストを素直に言う事が出来るようになったと言うようなお話でしたが、隣に座っている熊谷さんと榎さんと三人でこれはいいですね、うちのクラブでもやったらどうでしょうと言う事で先程の理事役員会にお諮りして最後の週に四つの反省をする事にしました。早速ですがご唱和をお願いします。(四つの反省唱和)

20 日にはロータリー財団のセミナーが青森であり財団委員長の小原さんと二人で出席してまいりました。主催者側として長嶺さんと熊谷さんも一緒でしたがロータリー漬のシルバーウィークでした。セミナーについては 11 月のロータリー財団担当例会で発表して頂きますので小原委員長よろしくをお願いします。

さて、9 月の第一例会でもお話ししましたが今月は基本的教育と識字率向上月間並びにロータリーの友月間です。先週の地区大会報告例会で RI 会長代理のお話として今年度からロータリーの月間目標が変わったので例会で取り上げて下さいとのお話があったことをお伝えしました。本日はコミュニケーション



《出席報告》大橋委員長

正会員数 47 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 31 名。出席率 74% です。前々会の例会は、家族レクリエーション例会でした。

ン委員会担当例会としてロータリーの友のお話をさせて頂きたいと思っておりますが、昨年度よりクラブの委員会編成が変わりコミュニケーション委員会は会報・広報・雑誌・IT と役割が増え委員長さんはじめ委員の皆さんには大変ご苦労をおかけしています。今日は八高インターアクトの皆さんにお越しいただいておりますが、昨年までは 9 月が新世代の為の月間でこの時期にインターアクト年次大会などの活動報告をして頂いておりました。本来であれば青少年奉仕委員会の担当として発表をして頂くのですが青少年奉仕月間は来年の 5 月まで待たなくてはなりません。あまり時間を空けたくなかったので本日はインターアクトクラブの広報と言う形でコミュニケーション委員会のお時間を頂けるよう三浦委員長さんをお願いをいたしました。5 月には改めて青少年奉仕委員会の担当として発表の場を設けたいと思っております。

ロータリーリーダーの 9 月号から一部ご紹介いたします。ロータリーリーダーと言うのはクラブ会長宛にメールで配信されるものだと思いますが、そのなかに「米国カリフォルニア州とメキシコのロータリー会員が協力して、メキシコの地域社会の教育と識字率向上を支援しています。これら 2 地域のロータリアンの長期的な協力により、互いの関係が深まっただけでなく、地域社会の人びととの信頼関係も深まり、家族と教育を大切にする価値観が養われました。」と言うものがありました。この記事についての詳細はマイロータリーを開きニュース&メディアを選択しますとニュース・記事という所に載っていますので、どうぞご覧になってください。今年度の会長方針の 3 番目にマイロータリーの活用促進を掲げています。マイロータリーを開いたことのない方はどう

ぞこの機会にチャレンジしてみてください。よろしくお願ひ致します。長くなりましたが最後にメラニーさんの記事が八戸市の広報に載っていましたのでご紹介いたします。特派大使通信と言うページで八戸市と縁が出来たのは八戸南ロータリークラブのお蔭でした、などと言う事が書いてあります。事務局に置きますのでご覧になってください。

《本人誕生日》 法官会員



《幹事報告》 吉田立盛幹事



第四回定例理事役員会の報告です。11月の例会プログラムについて審議し承認されました。11月5日(木)ゲストスピーチ又は会員卓話、11月12日(木)任意休会、11月19日(木)国際奉仕委員会担当例会(米山)、11月26日(木)ロータリー財団委員会担当例会です。10月のロータリーレートは1ドル120円です。

《ニコニコボックス》 吉田賢治委員長

伊藤会長：八高インターアクトの皆さんようこそ、発表よろしくお願ひします。三浦委員長担当例会よろしくお願ひします。

橋本会員：40年無欠席表彰ありがとうございます。

鈴木会員：次週職場訪問例会、よろしくお願ひします。

高橋会員：長寿ロータリアン表彰ありがとうございます。

小原会員：八戸高校インターアクトクラブの皆様ようこそ。
平光会員：八高インターアクトの皆様よろしくお願ひします。

榎会員：八高インターアクトの皆さんようこそお出で下さいました。

清川会員：八高インターアクトの皆さんようこそ！

本人誕生日：野澤会員、法官会員

《職業奉仕委員会》 鈴木委員長



来週10月1日は職場訪問例会と言う事で、今回は八戸市東部終末処理場を見学する事にしています。場所はピアドゥとかセプドールを第二魚市場の方に行くところの左側にあります。広い駐車場があり当日は門の所に立ってご案内しますのでよろしくお願ひします。12時30分から昼食で13時から見学して頂きます。昼食は研修室をお借りしています。建物は津波対策の建物で2階が事務所になっており研修室は3階になります。1階、1階が高いので足に自信のない方はエレベーターをご利用ください。もし場所が分からない方は地図を事務局に用意していますのでお持ち帰りください。地図の中にはガバナーエレクト事務所も載っていますのでご利

用ください。

《コミュニケーション委員会》 三浦晃委員長

コミュニケーション委員会の三浦です。皆さんに7月の最初の例会で日韓親善会議のご案内をしましたが代表して私が行って来ました。9月4日でしたが同じテーブルに二神典子さんと言うロータリーの友の編集長さんがいらして名刺交換をして来ました。ロータリーの友9月号に「ロータリーの友創刊の頃」と言う記事が載っていますので後でご覧になってください。その中に『ロータリーの友』過去・現在…そして未来」という二神典子さんの記事がありましたのでご紹介いたします。『ロータリーの友』創刊の頃座談会はいかがでしたか。今では約9万5,000部を発行する『ロータリーの友』ですが、創刊当時は発行部数も少なく、ロータリアンが自らその発行と維持に尽力し、大事に育ててきたことをご理解いただけたいと思います。」とあり、最後の方に「2013年規定審議会の決定に従い、昨年1月号からは、印刷版だけではなく電子版の配信を始めました。静止画から動画に変わる日も近いかもしれません。そうすると、記事も文字ではなく、本人の肉声になるのでしょうか。技術の進歩に伴い、想像もできないことが起こるかもしれません。」とあります。そして最後に『ロータリーの友』の未来を決めるのは、皆様一人ひとりです。」とありましたことをご紹介して、この後は八高インターアクトの皆さんに発表をして頂きます。



『インターアクト年次大会に参加して』

2年 府金 佑佳



昨年に続き今年度もインターアクト年次大会に参加させていただきました。昨年とはまた異なった楽しい体験をすることができ、有意義な時間を過ごせました。名久井農業高校郷土芸能クラブチームの盛大な歓迎セレモニーにはとても圧倒されました。迫力のあるステージを思う存分堪能することができました。研究チームによる発表が私の中でとても強く印象に残りました。能力においてはもちろんのこと、景観においても害すことなく寧ろ好印象を与えられるバイオエンジンの技術に感銘を受けました。二日目の座禅体験では邪念を取り払い心を無にし浄化することができました。人生において二度目の体験だったからなのか分かりませんが、なぜか足がしびれませんでした。活動発表ではあまりの緊張に手足がガクガクになりながらも無事終えることができました。今年も貴重な体験ができ光栄に思います。本当にありがとうございました。

『インターアクト年次大会に参加して』

2年 黒坂 咲野

私は今年初めてインターアクト年次大会に参加してみました。最初はどんなことをやるのか、よくわからなくて不安もありましたが、他校との交流を通して、様々な経験をすることができ



ました。同じ部屋の人とも仲良くなれて、他校のインターアクトの活動の内容などを知りました。他校では毎週集まって、自主的に活動していると聞いて、八高でも自分たちで考えて活動してみたいと思いました。またオープニングのロータリアンの方たちの話を聞いて、大人になっても活動し続けている人がいるということを知り、興味をもちました。二日目の座禅体験は初めてで、無心にするのがとても難しかったですが貴重な体験をすることができました。今回のインターアクト年次大会の経験をこれからの活動に生かしたいです。

『24時間テレビ募金活動に参加して』

1年 杉本 圭南



今回の24時間テレビ募金活動が、私にとって、最初のボランティア活動でした。活動を楽しむことができました。人通りが少ない中、お金を持って募金箱に向かって歩いてきてくださるのを見ると、とても嬉しく、ありがたい気持ちになりました。たくさん募金してくれた方や、ビンに入れて持ってきてくださった方もいました。ビンや袋に入れて持ってきてくださった方は、きっと、この24時間テレビ募金のために、前から、小銭が出るたびに集めてくださったのだと思います。こんなに考えている人がいることを知り、嬉しくなりました。私も、募金活動などには、少しの額でも、協力していこう、と今回の活動を通して、強く思いました。これからもボランティアの活動を通して、地域や、社会に、少しでも貢献していきたいと思いました。またボランティア以外でも、社会貢献して

いこうと思います。

『盲導犬育成募金活動に参加して』

1年 工藤 咲季

今回の盲導犬育成募金活動は、9月5日の午後、ピアドゥで行いました。始める前は、あまり募金が集まらないのではと不安に思っていたのですが、やってみると、多くの方が募金をしてくれて、自分がやっているこの活動が最終的に多くの人助けになると思うと、やりがいを感じました。小さな子どもが募金をしてくれることも多く、親に背中を押されて駆け寄ってきて、小さな手で募金をし、資料を受け取ってまた走って去っていくのを見ていると、心が温かくなりました。また、1人の男性から、「私の父は盲人で、このような活動に本当に助けられている。これからも是非頑張ってくれ。」と言われ、自分たちのこの活動の大切さを改めて実感し、機会があれば次回も参加したいと思いました。



《伊藤会長》

皆さん発表ありがとうございました。先ほど府金さんが法光寺での発表の時、緊張して手足がガクガクだったと言っていました。どうしてどうしてとても立派な発表でした。今日の発表以外にも私たちが思っている以上にインターアクトの生徒さん方は色々な活動をなさっています。これからも頑張ってお活動して頂きたいと思います。今日はありがとうございました。